



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 吉田 智哉

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-----|-------|-----|------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 14,322 | 9.6 | 1,166 | 8.0 | 1,090 | 5.1 | 451 | 7.4 |
| 27年3月期第3四半期 | 13,067 | 12.0 | 1,080 | 2.2 | 1,037 | 3.4 | 420 | 3.2 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 654百万円 (△1.8%) 27年3月期第3四半期 667百万円 (11.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 17.43 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 16.24 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 21,531 | 6,926 | 25.1 | 209.06 |
| 27年3月期 | 20,288 | 6,349 | 25.1 | 196.70 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,409百万円 27年3月期 5,090百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 1.30 | — | 1.50 | 2.80 |
| 28年3月期 | — | 1.50 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 1.50 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,889 | 5.0 | 1,734 | 8.7 | 1,660 | 8.5 | 703 | 13.0 | 27.19 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 28,150,000 株 | 27年3月期 | 28,150,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 2,273,100 株 | 27年3月期 | 2,273,100 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 25,876,900 株 | 27年3月期3Q | 25,876,900 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の継続、原油安の影響もあり緩やかな回復基調が続いておりますが、中国及びその他新興国の景気低迷への懸念から、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高14,322百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益1,166百万円(前年同期比8.0%増)、経常利益1,090百万円(前年同期比5.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益451百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、円安の進行等により中古車輸出に注目が集まり業者数が増加し競争が激化しておりますが、一部地域では資源価格下落による景気低迷で買い控えが発生しており、当第3四半期連結累計期間における輸出台数は95.8万台(前年同期比4.6%減)となりました。

このような状況で、当社グループのメイン販売先であるアフリカ地域においても、資源価格下落による景気低迷で需要が減少し、当社グループの輸出台数は5,482台(前年同期比16.9%減)となったものの、高額車輻を取扱う現地販売業者との取引強化により高額車輻の販売台数が増加し、販売単価も上昇いたしました。また、円安の影響等により、低価格車輻の収益性が向上し、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高6,421百万円(前年同期比15.6%増)、営業利益275百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、継続的に直営・FCの空白地域への新規出店を推進し、様々な施策により新規出店店舗の早期黒字化を目指しております。また、TVCMの継続的な放映、顧客満足度向上策の実施、好立地への移転等により個人顧客への販売強化に注力いたしました。当期において直営店の飯田店(長野県)、鈴鹿店(三重県)、静岡駅新幹線口店(静岡県)、FC店の高知店(高知県)、平泉店(岩手県)、高槻店(大阪府)、仙台宮城野店(宮城県)を新規出店しましたが、店舗統合等による減少もあり、直営店及びFC店の総店舗数は124店、総保有台数は13,096台(前年同期比4.5%増)となりました。さらに、レンタル終了車輻の販売台数は1,124台(前年同期比4.8%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高5,639百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益857百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、資源価格の下落等により景気が低迷し、それに伴い平成27年1-12月期の新車販売台数は57.5万台(前年同期比10.7%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国で新車ディーラーを運営しており、8月には既存のプジョーディーラーにおいてフランスの自動車メーカーであるシトロエンの取り扱いを開始し、プジョー・シトロエンディーラー1店舗、スズキディーラー3店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の合計5店舗となっております。また、新車販売のみに頼らない収益構造を構築すべく、継続的に中古車・サービス部門で経営改善を行い、収益力向上に取り組んでおりますが、景気の低迷により、新車販売台数は合計561台(前年同期比8.2%減、内訳：プジョー・シトロエン44台(2.2%減)、フィアット・アルファロメオ15台(37.5%減)、スズキ502台(7.4%減))、中古車販売台数は合計1,044台(前年同期比7.6%増)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,506百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益35百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、11,810百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産が434百万円、商品及び製品が334百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、9,721百万円となりました。これはリース資産(純額)が218百万円、土地が198百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、21,531百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、11,727百万円となりました。これはリース債務が477百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.6%増加し、2,878百万円となりました。これはリース債務が167百万円増加したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、6,926百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し、785百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,659百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,090百万円、減価償却費1,827百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は534百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出509百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は2,144百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出2,070百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、引き続き既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成27年5月7日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 814,962 | 785,947 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,067,701 | 1,189,835 |
| リース債権及びリース投資資産 | 6,289,561 | 6,724,334 |
| 商品及び製品 | 1,945,976 | 2,280,739 |
| 仕掛品 | 1,940 | 2,459 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,410 | 15,432 |
| その他 | 957,289 | 816,798 |
| 貸倒引当金 | △4,666 | △5,113 |
| 流動資産合計 | 11,086,175 | 11,810,435 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| リース資産(純額) | 4,509,096 | 4,727,688 |
| 土地 | 2,957,671 | 3,156,081 |
| その他(純額) | 1,035,018 | 1,171,018 |
| 有形固定資産合計 | 8,501,786 | 9,054,788 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 108,731 | 97,969 |
| その他 | 84,302 | 71,685 |
| 無形固定資産合計 | 193,034 | 169,655 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 523,378 | 515,243 |
| 貸倒引当金 | △16,005 | △18,352 |
| 投資その他の資産合計 | 507,373 | 496,891 |
| 固定資産合計 | 9,202,194 | 9,721,334 |
| 資産合計 | 20,288,370 | 21,531,769 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 644,986 | 546,083 |
| 短期借入金 | 910,000 | 920,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 16,000 | 9,000 |
| リース債務 | 8,417,686 | 8,895,043 |
| 未払法人税等 | 299,188 | 89,400 |
| 賞与引当金 | 74,703 | 43,963 |
| その他 | 876,258 | 1,223,546 |
| 流動負債合計 | 11,238,822 | 11,727,036 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 2,614,701 | 2,782,123 |
| 役員退職慰労引当金 | 26,740 | 29,165 |
| 資産除去債務 | 18,061 | 16,932 |
| その他 | 40,779 | 49,967 |
| 固定負債合計 | 2,700,282 | 2,878,188 |
| 負債合計 | 13,939,104 | 14,605,224 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,349,000 | 1,349,000 |
| 資本剰余金 | 1,174,800 | 1,174,800 |
| 利益剰余金 | 3,170,282 | 3,543,878 |
| 自己株式 | △618,209 | △618,209 |
| 株主資本合計 | 5,075,873 | 5,449,469 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 22,567 | 8,008 |
| 為替換算調整勘定 | △8,294 | △47,577 |
| その他の包括利益累計額合計 | 14,273 | △39,569 |
| 非支配株主持分 | 1,259,119 | 1,516,644 |
| 純資産合計 | 6,349,265 | 6,926,545 |
| 負債純資産合計 | 20,288,370 | 21,531,769 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 13,067,352 | 14,322,144 |
| 売上原価 | 9,660,501 | 10,767,743 |
| 売上総利益 | 3,406,851 | 3,554,400 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,326,434 | 2,387,950 |
| 営業利益 | 1,080,416 | 1,166,449 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,123 | 9,529 |
| 受取配当金 | 9,649 | 7,999 |
| 為替差益 | 2,699 | — |
| 投資有価証券償還益 | 7,438 | 4,310 |
| その他 | 6,934 | 6,994 |
| 営業外収益合計 | 36,846 | 28,833 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 73,081 | 71,421 |
| 為替差損 | — | 31,933 |
| その他 | 6,744 | 1,311 |
| 営業外費用合計 | 79,825 | 104,666 |
| 経常利益 | 1,037,437 | 1,090,616 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 269 | 424 |
| 特別利益合計 | 269 | 424 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 7 | — |
| 固定資産除却損 | 1,317 | 394 |
| 特別損失合計 | 1,325 | 394 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,036,381 | 1,090,646 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 346,160 | 354,217 |
| 法人税等調整額 | 38,402 | 27,414 |
| 法人税等合計 | 384,562 | 381,631 |
| 四半期純利益 | 651,818 | 709,014 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 231,535 | 257,787 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 420,282 | 451,227 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 651,818 | 709,014 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,515 | △14,820 |
| 為替換算調整勘定 | 11,863 | △39,283 |
| その他の包括利益合計 | 15,378 | △54,103 |
| 四半期包括利益 | 667,196 | 654,910 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 435,547 | 397,385 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 231,649 | 257,525 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,036,381 | 1,090,646 |
| 減価償却費 | 1,718,562 | 1,827,890 |
| のれん償却額 | 5,165 | 5,113 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 961 | 3,903 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △38,902 | △30,739 |
| 受取利息及び受取配当金 | △19,773 | △17,528 |
| 支払利息 | 73,081 | 71,421 |
| 為替差損益 (△は益) | 367 | 3,247 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | 7 | — |
| 固定資産除却損 | 1,317 | 394 |
| 投資有価証券償還損益 (△は益) | △269 | △424 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △97,029 | △139,646 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 142,407 | △95,919 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 24,992 | 3,297 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △62,020 | 36,362 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △38,409 | △376 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 448,230 | 508,781 |
| その他の固定資産の増減額 (△は増加) | 2,286 | 3 |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少) | △6,417 | 11,442 |
| その他 | 2,945 | 1,787 |
| 小計 | 3,193,885 | 3,279,657 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19,762 | 17,544 |
| 利息の支払額 | △72,456 | △71,421 |
| 法人税等の支払額 | △602,315 | △566,247 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,538,875 | 2,659,532 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | △4,930 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △376,386 | △509,501 |
| 有形固定資産の除却による支出 | — | △1,220 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17,538 | △15,343 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 561 | 559 |
| 貸付けによる支出 | △6,679 | △765 |
| 貸付金の回収による収入 | 21,601 | 5,247 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △13,230 | △20,429 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 8,402 | 16,418 |
| その他 | △6,959 | △9,891 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △395,159 | △534,926 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 100,000 | 10,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △157,522 | — |
| 社債の償還による支出 | △15,000 | △7,000 |
| 配当金の支払額 | △69,344 | △77,162 |
| リース債務の返済による支出 | △1,896,881 | △2,070,423 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,038,747 | △2,144,586 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 400 | △9,034 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 105,369 | △29,014 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 675,099 | 814,962 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 780,468 | 785,947 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|----------------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 中古車輸出 事業 | レンタカー 事業 | 海外自動車 ディーラー 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,548,874 | 4,979,217 | 2,539,260 | 13,067,352 | — | 13,067,352 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 5,134 | 246,936 | — | 252,070 | △252,070 | — |
| 計 | 5,554,008 | 5,226,153 | 2,539,260 | 13,319,423 | △252,070 | 13,067,352 |
| セグメント利益 | 247,976 | 804,044 | 37,139 | 1,089,160 | △8,743 | 1,080,416 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,743千円には、のれん償却額△5,165千円、棚卸資産の調整額△4,242千円、その他の調整額663千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|----------------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 中古車輸出 事業 | レンタカー 事業 | 海外自動車 ディーラー 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,418,103 | 5,397,128 | 2,506,912 | 14,322,144 | — | 14,322,144 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 3,130 | 242,322 | — | 245,452 | △245,452 | — |
| 計 | 6,421,233 | 5,639,451 | 2,506,912 | 14,567,597 | △245,452 | 14,322,144 |
| セグメント利益 | 275,578 | 857,158 | 35,749 | 1,168,486 | △2,036 | 1,166,449 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,036千円には、のれん償却額△5,113千円、棚卸資産の調整額1,276千円、その他の調整額1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。